

令和元年度第11回教育研究評議会議事録

日時 令和2年3月18日(水) 14:30～16:38 TV会議
場所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、池田、手島、寺村、小谷、河合、笹原、白井、日詰、田島、江口尚、熊倉、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、森田、鳥山、江口昌、原、三村、朴、澤田の各評議員
陪席者 鈴木、村松の各監事、青木、藤井、宮原の各学長補佐
西村安全保障輸出等管理室員（審議事項8のみ）

I 前回議事録の承認について

令和元年度第10回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1-1により、合意書締結後の会議等の開催状況、資料1-2により、第16回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和2年2月27日）の報告があった。

<議長の主な説明>

- ・ 浜松地区新大学の体制や具体的な改革案を検討していくため、浜松地区の大学運営検討専門委員会の下に「組織・業務運営検討WG」及び「教育・研究にかかるWG」を設置することとした。
- ・ コンサルタント会社のアクセンチュア担当者から、業務効率化に向けた支援業務の中間報告があった。

2 国立大学法人静岡大学理事規則の一部改正について

議長から、国立大学法人静岡大学理事規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

丹沢委員及び白井委員から、国立大学法人静岡大学学則の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学未来社会デザイン機構の設置に伴う規則の制定等について

丹沢委員から、静岡大学未来社会デザイン機構の設置に伴う規則の制定等について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<令和2年3月6日開催の企画戦略会議以降、訂正した箇所>

- ・ 未来社会デザイン機構設置に際し、教育学部の「ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム」を「サステナビリティセンター」に移管するという説明は誤りであり、これを移管せず、新たにESD・国際化推進部門を新設する。

<委員から出された意見等>

- ・ 江口尚委員から、ESD・国際化ふじのくにコンソーシアムの主要メンバーから以下の要望・意見が出されたとの報告があった。

(1) ESD・国際化推進部門の企画運営に関して全学・学部等のこれまでの事業担当者と協議を早急に行うこと。

(2) ESD ふじのくにコンソーシアムと ESD・国際化推進部門との所掌範囲・関係を明確にすること。

(3) ESD ふじのくにコンソーシアムの事業は教員養成に特化した教員養成改革に関わるものであり、一方、ESD・国際化推進部門は全学的な位置づけなので、それにふさわしい理念・構想・組織を構築するのが望ましい。

これに対して、丹沢委員から、ESD ふじのくにコンソーシアムと早急に協議し、調整するとの回答があった。

5 静岡大学未来社会デザイン機構の設置に伴う関連規則等の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学未来社会デザイン機構の設置に伴う関連規則等の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）の国際連携推進機構での受入れに伴う関係規則等の一部改正について

白井委員から、国費外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）の国際連携推進機構での受入れに伴う関係規則等の一部改正について、資料6により提案があり、現状と合わない場合には文言を修正することとし、これを承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 川田委員から、国費外国人留学生の受け入れの後の具体的な扱いについて質問があり、白井委員から、科目等履修生のため、交換留学生と同様に、一定の期間を過ぎたら帰国するとの回答があった。

- ・ 森田委員から、静岡大学外国人学生規程の一部を改正する規程の第3条の改正案に関わる「国際連携推進機構会議の選考を経て、学長が入学を許可する。」について、受け入れ部局が選考に加わらないのは違和感があるとの意見が出され、白井委員から手続きについて再度確認を行うとの発言があった。

7 静岡大学における特別な教育課程の履修に関する規則の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学における特別な教育課程の履修に関する規則の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 静岡大学安全保障輸出管理規則の一部改正等について

木村委員及び西村安全保障輸出等管理室員から、静岡大学安全保障輸出管理規則の一部改正等について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 静岡大学職務発明規則の一部改正について

木村委員から、静岡大学職務発明規則の一部改正について、資料9により提案

があり、審議の結果、一部修正の可能性があることを含め、これを承認した。

1 0 静岡大学授業料等免除及び徴収猶予の取扱いに関する規則の一部改正について
寺村委員から、静岡大学授業料等免除及び徴収猶予の取扱いに関する規則の一部改正について、資料10により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 1 令和2年度の年度計画の策定について

東郷委員から、令和2年度の年度計画の策定について、資料11により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<委員から出された意見等>

- ・ 朴委員から、留学生の受入れや派遣数は国際連携推進機構で把握するような体制を整えていただきたいとの発言があり、白井委員から、他大学のシステム等を参考に検討したいとの回答があった。

1 2 明治薬科大学大学院薬学研究科と静岡大学大学院総合科学技術研究科との間における特別研究学生等交流協定の締結について

田中委員から、明治薬科大学大学院薬学研究科と静岡大学大学院総合科学技術研究科との間における特別研究学生等交流協定の締結について、資料12により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 3 チェンマイ大学（タイ）との大学間交流協定の更新について

白井委員から、チェンマイ大学（タイ）との大学間交流協定の更新について、資料13により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 4 キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ）との大学間交流協定の更新について

白井委員から、キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ）との大学間交流協定の更新について、資料14により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

1 5 静岡大学名誉教授の称号授与について

議長から、令和元年度末で退職する領域が推薦した教授10人及び学長が発議した教授1名（平成30年末退職）への静岡大学名誉教授の称号授与について、資料15及び別添資料により提案があり、審議の結果、これを承認した。

Ⅲ 報告事項

1 令和元年度第11回企画戦略会議（令和2年3月6日）報告

議長から、令和元年度第11回企画戦略会議(令和2年3月6日)について、資料16により報告があった。

2 顧問の委嘱について

議長から、顧問の委嘱について、資料17により報告があった。

3 教員の採用等報告について

議長から、教員の採用1件、昇任8件について、資料18により報告があった。

4 新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について

議長から、新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について、資料19により報告があった。

<議長の主な説明>

- ・ 学位授与式(3/19, 3/23)を中止し、各学部等に学位記の郵送等の対応を依頼した。
- ・ 学位記送付時に学長式辞を同封し、学長メッセージを動画配信(3/19)する。
- ・ 新型コロナに関する対策本部を設置し、通信(第1報)を発信した。
- ・ 入学式(4/4)を中止する。なお、ガイダンス、健康診断、授業開始時期など引続き議論を行い、学生に不利益をもたらさないよう、柔軟に対応したい。

5 平成30年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について

東郷委員から、平成30年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について、資料20により報告があった。

6 プロジェクト研究所の設置について

木村委員から、プロジェクト研究所の設置1件について、資料21により報告があった。

7 情報セキュリティ WEB セミナー及び個人情報保護 WEB セミナーの受講結果について

東郷委員から、情報セキュリティ WEB セミナー及び個人情報保護 WEB セミナーの受講結果について、資料22により報告があり、受講率の向上を図るよう依頼があった。

以上